

「テレワーク活用ネットワーク会議」委員

(50音順、敬称略)

氏名	所属等	備考
猪子 和幸	特定非営利活動法人 ジェイシーアイ・テレワーカーズ・ネットワーク 理事長	
川原 雅好	株式会社エル・イズ・ビー	
佐々木 雅信	徳島県中小企業家同友会 事務局長	
竹内 真由美	フリーランス	
田澤 由利	株式会社テレワークマネジメント 代表取締役	
葛籠 枝美	株式会社テレコメディア 徳島支社 人事部 部長	
清瀬 由香	特定非営利活動法人チルドリン徳島	
米澤 和美	徳島県社会保険労務士会 会長	

テレワーク活用ネットワーク会議委員の発言に対する対応状況

年度	開催日	委員名	意見（提案）	対応状況
27	H27. 7. 27	佐々木委員	自営型のテレワークの場合、発注する企業としては、受け手のスキルがどれくらい分からないと心配。コーディネーターがいて、仕事の割り振りをし、納品まで責任を持ってくれる体制ならば安心だと思う。	平成27年度事業において、テレワークコーディネーターを養成した。
	H28. 3. 17	米澤副会長	ハローワークでテレワーク（在宅勤務）を希望する人向けのコーナーを作ってもらえれば働く側も求人を探しやすいと思う。	平成28年度末に開設された徳島県版ハローワークにおいて、テレワークセンター徳島と連携し、テレワークに関する相談をその場で受けられるよう体制を整備した。
		川原委員	在宅勤務の導入に二の足を踏む要因としては、勤怠管理等、会社内のルールの整備が大きいと思うので、その点のサポートをしていく必要がある。	平成28年度より、テレワークセンター徳島から専門的な相談に応じるアドバイザーの派遣を行うこととした。
28	H28. 10. 27	田澤委員	雇用型テレワークの推進については、ただセミナーの開催やチラシを見てもらうだけではなく、直接企業へ出向いてもいい。	平成29年度からは、企業への出張セミナーを実施し、企業トップへの勉強会や社員の意識アップのための研修を行う。
	H29. 3. 16	佐々木委員	人材確保が難しい状況で、ICTママの養成といったようなものが急がれていると思うが、ひとつの突破口になるのであれば、早い展開が必要かと思う。	平成29年度においても、引き続きICTママの養成及びスキルアップを行う。
		野田委員	テレワーク活用ネットワーク会議は資料をペーパーレスとし、事前に送ってもらいたい。	平成29年度第1回会議において、資料データを事前に送り、当日は資料を入れたタブレット端末を用意し、ペーパーレス会議を実施した。
29	H30. 3. 16	葛籠委員	ICTママについて、ママだけでなく色々な人が活躍できるといいと思う。	平成30年度において、ICTママをICTウーマンとして、ママだけではなく、介護による離職した女性についても対象とする。
30	H30. 8. 20	米澤副会長	企業がITに強くないとテレワークが一歩進んでいかない。ITに強い人材を育成して企業にアドバイスなどで広めていくべき。	平成31年度において、企業からの参加も呼びかけ、テレワーカーのスキルアップ研修会を行い、専門性・実践的な「ICT人材」を養成する。
	H31. 3. 25	竹内委員	テレワークを始めようと思っている人たちが、テレワークデイズなどの活動に触れることになったらいい。	親子で参加できるキッズイベント等の開催や各種イベントと連携したテレワークの普及啓発活動など、テレワークを体験できる機会を創出する。

柔軟な働き方「テレワークするんじょ！」事業

現状・課題

- ◆ 少子高齢化による労働力人口の減少
- ◆ 子育て、介護や病気療養を理由とする離職によるキャリアの中断



働き方改革の切り札「テレワーク」

「テレワーク活用ネットワーク会議」委員の意見

- ◆ ICT人材が不足している
- ◆ 企業の意識改革が重要である
- ◆ 効率的な雇用型を持続すべき



さらなる加速

テレワーク導入促進事業

テレワーク実装化に向けた企業のチャレンジ支援

- ・ 企業訪問相談による雇用型テレワークの促進（導入支援、アウトソーシング紹介）
- ・ テレワーク導入企業マッチングイベントの開催
- ・ 企業向けセミナー（出前講座）の実施

サテライト
オフィス



在宅勤務



県内企業の
「働き方改革」
後押し



テレワークの普及啓発

- ・ テレワーク体験コーナーの拡充
- ・ テレワークの場（コワーキングスペース）の提供
- ・ 県内地域団体との普及啓発の連携



「テレワークセンター徳島」の運営強化

ICTウーマン養成事業

分野別・レベル別スキルアップ研修会の開催

専門的、実践的なICT人材を養成

- ・ レポートリング
- ・ デザイン・イラスト制作 等

企業からの
参加も受入



テレワークコーディネーターの養成

ICTウーマンのフォローアップ
ガイドラインに準拠した
「自営型テレワーク」をサポート



実践事例発表・ワークショップの開催

多様な人材交流の場を創出
多様な人材交流による
自律的なキャリア形成を応援

とくしまフューチャー
アカデミーと連携



とくしま発「テレワーク」で「多様で柔軟な働き方」を実現！

県内でテレワークを実施する事業所数
(トライアル実施を含む) (累計) 52事業所 (H29年度末)

担当: 労働雇用戦略課